看護師のフォロワーシップ尺度の開発
信頼性と妥当性の検討

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2023-06-03
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 吉田, 和美
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003386

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 48 号

看護師のフォロワーシップ尺度の開発 信頼性と妥当性の検討

（Development of Followership Scale for Nurses ： A Study of its Reliability and Validity）

吉田　和美（よしだ　かずみ）

博士（看護学）

論文内容の要旨

【目的】

看護師のフォロワーシップを測定する尺度を開発し，その信頼性と妥当性を明らかにすることである。

【方法】

予備調査として総合病院に勤務する看護師のフォロワーシップを明らかにするために 18 名の看護師に半構造化面接を実施し，看護師のフォロワーシップの構成概念を明らかにした。看護師のフォロワーシップとして，【管理者のインシデント対応・クレーム対応を促進する】【より良い看護ケアを追究する】【優れた行動特性をもつ】【管理者に有用な情報を集約する】【管理者に提案し変革を支援する】【管理者の方針に意見する】【日々の業務のマネジメントを補佐する】【メンバーのメンタルヘルス改善に向けて行動する】【メンバーの育成に貢献する】【コミュニケーションを促進する】の 10 概念を明らかにした。これを元に質問項目を生成し，臨床看護師のフォロワーシップ尺度試作版を作成し，プレテストを実施した。項目分析により，57 項目の尺度原案を作成した。これを用いて，200 床以上の医療施設の 3 年目以上の看護師に質問紙調査を実施した。

【結果／考察】

質問紙を 2,032 部配布し，684 部回収（回収率 33.7%）し 680 部を有効回答票とした。

回答は天井効果により 1 項目，I-T 相関の確認により 15 項目を除外した。主因子法，プロマックス回転により探索的因子分析を繰り返し，最終的に 33 項目の第 6 因子構造となった。各因子は，「批判的態度と行動」，「ケアリング」，「コミュニケーション」，「自律的成長」，「モニタリング」，「後輩育成」の 6 概念に解釈された。

尺度全体のクロンバックα係数は 0.946，各因子は 0.823～0.91 であり，内的一貫性が確保された。また，再検査法では 30 部の有効票の一致率（0.737）を確認し，再検査信頼性を確保できたと考えられる。看護師のフォロワーシップ尺度合計点と Kelley のフォロワーシップ尺度合計点は有意な正の相関（$r = 0.528$; $p < 0.01$），第 1 因子から第 6 因子までのすべての因子も有意な正の相関（$r = 0.332 \sim 0.492$; $p < 0.01$）があり基準関連妥当性が確認できたと考えられる。フォロワーシップ尺度合計点および第 1 因子から第 6 因子の得点は，看護師の看護師長との関係，看護実践への自信の程度，組織と部署の理念・リーダーへの共感・合意の程度により，有意な差がある（$p < 0.01$）ことが確認できたため，併存妥当性が確保できたと考えられる。

【結論】

看護師のフォロワーシップ尺度を開発した。尺度は，概ね信頼性と妥当性が確保された。